

で議案を審査

3つの常任委員会



総務文教 常任委員会

10項目を審査



燕市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会において、どのような議論が行われたのか。

答 「平成30年度までに人口規模に見合った報酬額になるよう今後段階的に引き上げを検討」とした昨年の附帯意見を尊重した上で審議。一つ上位の三条市と月額7万円前後の差がある点、今後は若い人にも関心を持ってほしいとする意見のほか、地場産業の景況から据え置きとするという慎重な意見もあったが、最終的に4%の引き上げとなった。

反対討論 地方では好景気と言える状況ではない。報酬引き上げは、燕市の地場で働く方々から十分な理解は得られない。

燕市個人情報保護条例の一部改正

反対討論 制度に未だ不備、不安があり、個人情報漏えいの危険も含んでいる。制度自体に反対のため、条例改正についても同様だ。賛成討論 よりよい社会を築いていくには新しい制度が必要。不安ながらも、慎重に取り組んでいくことを前提に賛成する。

燕市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

問 介護休暇の取得の現状は。また、非正規職員に対しても待遇改善の考えがあるのか。

答 2名の職員が、過去に介護休暇を取得しており、今後でもできる限り対応していく。非正規職員については、賃金改定を議会にお諮りしているが、処遇全般について今後も検討したい。

市民厚生 常任委員会

5項目を審査



平成28年度一般会計補正予算

問 個人番号カード交付事務費補助金について、当市の個人番号カードの交付状況は。

答 今年2月末時点で41999枚(人口比5.2%)の交付実績。今のところ、個人番号の確認と身分証明の利用だが、今後サービスが増えてくると交付数も伸びてくると思われる。

問 ひとり親家庭等医療費助成事業は、どのような状況のための補正か。

答 現状は昨年度決算と比べ、若干下回る程度で

新潟市及び燕市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について

問 新潟市内への救急搬送、通院などの現状を考慮し、高度医療サービスへの連携(参加)は必要と考える。今後、見直しが可能なのか。

答 連携協約が未締結で見直しの協議予定が決まっておらず、「現状の二次医療圏」と新潟市から示されたため参加しない。患者の動向等を踏まえ、新潟市との連携の場で調整すべきか、県全域の中で医療圏間の調整を行うべきかを論点とし、協議していきたい。

問 子育て支援センター相互利用事業や、スポーツ施設の相互利用事業等について。

答 各自治体の資産を有効に相互活用し、圏域全体での効率的な行政運営がねらい。連携により少ない負担で燕市の施策が推進でき、一定の効果が見込める上、市民の利便性向上につながる。議会の意見や提案を念頭に新潟市と協議していきたい。

平成28年度一般会計補正予算

問 歳入のうち、市債の県央大橋西詰周辺地域整備事業、歳出の旧燕工業高等学校等解体事業の工事請負費と埋蔵文化財発掘調査業務委託料について、増減理由は。

答 市債については、社会資本総合整備交付金の内示状況を踏まえたもの。また、旧燕工業高校は、騒音や振動についての対策や資材の搬入が容易で、解体しやすい状況だったため、設計、積算額より低く入札が行われた。埋蔵文化財の業務では、発掘された出土品の点数が当初から減ったためである。

契約管理費の電子入札システム共同利用負担金と災害対策費の新潟県被災者生活再建支援システム導入負担金について聞きたい。

反対討論 県央大橋西詰周辺地域整備事業は開発提案時から理解がたく、一貫して反対。賛成討論 当整備は地域資源を生かしたまちづくりの希望となる事業。住民福祉の向上を目指し、しっかりと取り組んでもらうためにも賛成。

問 マイナンバー制度については、人間に番号を振る自体おかし。導入当初から制度に反対である。反対討論 相当に金を使い、さらにまた金をかけていく制度を是とはできない。

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算

問 後期高齢者支援金、前期高齢者納付金、介護納付金の減額について聞きたい。

答 これらについては、社会保険診療報酬支払基金で額が確定され、保険者である燕市に決定通知がくるものであり、当初の積算より減少したため補正である。

問 給付準備基金積立金については不安だが、いかがか。

答 今後医療費の高騰により財源的に苦しくなる



市長と議長が出席して行われた新潟市との連携協約締結式(3月28日新潟市内)

問 電子入札システムは、マイナンバー活用に伴うL2WAN環境のセキュリティ強化のためシステムの変更が伴うもの。被災者支援システムは、災害時の早急な支援に欠かせない業務に利用でき、県内の自治体で共同運用を行うことで相互に災害対応が可能となる。

その他

燕市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

燕市議会議政務活動費の交付に関する条例の一部改正
燕市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
燕市職員の給与に関する条例の一部改正
平成28年度燕市土地取得特別会計補正予算

平成28年度介護保険事業特別会計補正予算

問 任意事業費の家族介護用品支給費について、紙おむつの支給費が想定外の人数であったのか。

答 昨年12月と前々年12月を比較すると支給対象者の伸び率が2.28%で、そのうち支給単価の高い非課税者の伸び率が増えているため不足が生じた。

問 介護給付費準備基金積立金は妥当なのか。

答 認定者数の実績が計画よりも少なかったことや1号被保険者の納めた保険料の伸びが計画値を上回り、その剰金を積立たいと考えている。

その他

燕市条例等の一部改正
平成28年度燕市後期高齢者医療特別会計補正予算

このような審査を経て、本会議にかけられます

産業建設 常任委員会

7項目を審査

可決
すばきものと決定

燕市ふれあい交流センター条例の一部改正

問 交流センターの利用客数は。

答 多くの方に利用していただき、平成27年度12月から2月と平成28年度を比較すると売上金額も15.9%の伸びとなっている。

問 これまで物販飲食ができなかった経緯は。

答 当初農林水産省の補助金を利用した施設であり、営利目的の常設展示や販売行為が制限されていたためできなかった。平成27年度に県知事から財産処分の承認を受けて、物販飲食が可能となった。

燕市手数料徴収条例の一部改正

問 許可申請件数の具体的内容と歳入について。

答 許可申請件数について広告物の内訳等は把握していない。全体の歳入は、26年度1億5万1300円、27年度2億01万3200円となっている。

問 手数料徴収について、非営利団体と営利団体で異なるのか。また、短期間の掲載でも手数料がかかるのか。



燕市営住宅

燕市営住宅条例の一部改正

問 市営住宅のあり方、市営住宅に対する取り組みや今後の方針について聞きたい。

答 修繕をした上で市民の方に移転をお願いするなど、集約化についても考慮していきたい。今後は、空き家の進公営住宅化などの制度も踏まえながら検討していきたい。

問 古い建物の家賃について聞きたい。

答 住宅使用料は経過年数により下がっており、解体する団地については相当低廉になっている。

平成28年度一般会計補正予算

問 商工振興費の中小企業融資金貸付金の中で、中小企業振興資金預託金、工場等移転資金預託金など各種預託金の金利について聞きたい。

答 制度融資の金利については全て1.9%。今後金融機関や市内事業者と意見交換をしながら利用しやすい制度となるよう検討したい。

問 社会資本整備総合交付金事業では、国からの交付金が要額に対し大幅減額になっている現状については。

答 交付金が減額配分されている中で、工夫しながら事業に取り組んでいる。雪害事業などについても、橋梁点検や歩道整備と同様に重点事業化を図れるよう、県とも相談しながら検討していきたい。

問 産地産業特別対策費の「PR映像制作業務委託料」の減額理由は。



物産展示コーナーも充実した、燕市ふれあい交流センター(道の駅 国上)

問 東京オリンピック・パラリンピックの選手村に燕製品を導入してもらったため大会組織委員会に対するPR映像の制作を考えていたが、食堂などのフードビジョンが決定しておらず、より効果的なPRを図るためにはビジョン決定後に制作した方がよいと判断したため減額した。

問 道路維持費の新興野地区雨水対策事業について、付近の舗装が傷んでいるが。

答 工事の際、大型重機の出入りなどにより道路が傷んだと思われる。定期的な見回り等を行い、舗装・修繕するなど気をつけていきたい。

問 産業振興対策費の企業立地活性化事業について、県外から進出希望の問い合わせはあるか。

答 実績としてある。

平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算

問 事業費が減額される中で、下水道事業の進捗状況はどうなっているのか。また今後の下水道事業に対する認識について聞きたい。

答 28年度は、管渠の未普及対策社会資本整備交付金事業については、交付金の配分が100%で、予定どおり進めることができた。長寿命化対策管渠更新に対する配分は60.4%と低い配分になっているため、処理場については優先的に使用し、長寿命化老朽管対策については事業費をかなり落とした形で執行している。今後の下水道事業については、市としても大変危惧している。国としては、全国的には下水道整備は完了しているという印象を持っていると思われるため、補助金・交付金等は減額傾向にあると考えられる。これに対応した整備構想をつくり、国の方針のとおり進めていくしかないと思う。

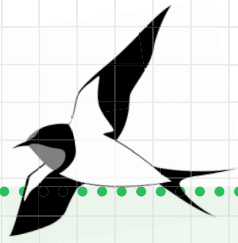
問 合流施設整備工事費について、当初の計画と減額による修正について。

答 555メートルの事業費で国に要望したが、配分が60.4%と低かったため341メートルの執行見込である。全体としては傷んだ区域が2.2キロメートルとして平成37年を完了予定としている。具体的には処理場から本町排水区の間に向かう路線で、口径は2100、1800とかなり大きなものである。

その他

・燕市有吉田東栄町住宅条例の一部改正
・市道路線の認定

議員発議



4月1日付で 燕市の鳥に「ツバメ(燕)」が制定されました

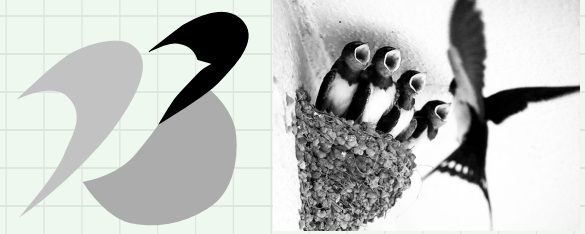
全会一致で可決

【これまでの経緯】

燕市は平成18年の合併時に、市の木・花を制定しましたが、「市の鳥」は制定されていませんでした。平成27年6月定例会の一般質問で、合併10周年を機に市の鳥の制定を求めるもの、見送られていました。

西年である今年、燕市のさらなる飛躍を願い、平成29年3月定例会で、議員発議案が提出されました。提案者、正副議長を除いた21人の議員が賛成者となり、全会一致で可決されました。

これでツバメ(燕)を市町村の鳥にしている自治体は9つになりました。燕市は合併以来、プロ野球東京ヤクルトスワローズとの交流事業、つば九郎米など、鳥のツバメと関わりのあるさまざまな取り組みを実施してきました。これからは正式に、ツバメを市の鳥として広くPRしていきます。



三 解説 燕市という市名の由来、ご存じですか？

今から440年ほど昔の雨季のこと、中ノ口町を流れる濁流に揺られながら、上流から流れてくる祠(ほくら)がありました。その祠はどうしたわけか、宮の浦(現在の宮町)までくると流そうにも流れず、しかもその祠の屋根やその付近に、たくさんのツバメが祠を守るように群がったといひます。不思議に思った村人によって拾い上げられた祠は地の守り神としてまつられ、そしてこの不思議なツバメの群れから「燕の村」と呼ばれるようになったと伝えられています。

